

謹んで新春のお慶びを申し上げます



2023 1. 1
 NO. 663 号
 全港湾関西地方
 阪神支部
 大阪市港区築港
 1-12-27
 06-6574-8424
 078-303-0800
 全港湾は一人
 でも入れます



☆船名
 Pacific Venus
 ☆就航年 1998年
 ☆総トン数 26,518トン
 ☆全長 183.4m
 ☆全幅 25m
 ☆乗客定員 720名
 ☆乗組員数 204名



執行委員長 河野照宜

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆さまにおかれましては、新型コロナウイルスの影響拡大を憂い、お見舞い申し上げますとともに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は港湾産別春闘が半年以上の長期にわたり継続し、異例の春季闘争となりました。

コロナ禍でも組合員の皆さんが粘り強く交渉し、勝ち取った賃上げと、夏季・冬季一時金もロシアとウクライナ戦争による原油や天然ガスの輸入制限で光熱費の上昇や、円安による様々な生活必需品の値上がりで実質賃金は減少し続けています。

岸田首相は経済政策の問題で、これだけ国民が物価高騰に苦しんでいるにもかかわらず、どうやって国民の暮らしや営業を守っていくのか具体的な対策をまったく示しません。賃上げについても企業に要請するだけで、賃金が上がらない構

造には手をつけようとしません。それどころか、防衛力強化等として10兆円以上の軍事費を計上しました。しかも国立病院の積立金やコロナ対策資金の一部まで流用しようとしています。防衛

費増額のために増税まで企むなどもつてのほかです。

国民の暮らしを犠牲にし、「戦争する国づくり」に財政をつぎ込むのは、日本がアジアへの侵略戦争でたどった道です。大軍拡に対するたかひは日本の進路にかかわる重要な意義を持っています。これまでに以上憲法、暮らし、平和を守る世論と運動を大いに広げましょう。

世界的経済危機ともいえる状況は残念ながら今年も続くことが予想されます。ただでさえ3年にわたる

コロナ禍で国民の生活は疲弊しているのに、これ以上の物価上昇にどこまで耐えられるのか。特に学生、シングルマザー、生活保護受給者などの社会的弱者の生活は死活問題となつてしま

います。コロナ禍で必要な社会基盤も切り捨てられました。公助が土台にあるからこそ尊厳と命が守られる政治であると思います。

私たちの足元では、大阪府・市政を牛耳る維新の会

が、2025年の大阪・関西万博開催とIR・カジノ建設に突き進んでいます。会場となる夢洲へはカジノ事業者の要請で市が790億円もの土地対策費を支

出します。カジノの年間売り上げ4200億円は過大推計で「空想的な数字」といわれますが、来場者の大半は日本国民を想定して

います。2025年の大阪・関西万博開催とIR・カジノ建設に突き進んでいます。

会場となる夢洲へはカジノ事業者の要請で市が790億円もの土地対策費を支

出します。カジノの年間売り上げ4200億円は過大推計で「空想的な数字」といわれますが、来場者の大半は日本国民を想定して

います。2025年の大阪・関西万博開催とIR・カジノ建設に突き進んでいます。

会場となる夢洲へはカジノ事業者の要請で市が790億円もの土地対策費を支

出します。カジノの年間売り上げ4200億円は過大推計で「空想的な数字」といわれますが、来場者の大半は日本国民を想定して

います。2025年の大阪・関西万博開催とIR・カジノ建設に突き進んでいます。

会場となる夢洲へはカジノ事業者の要請で市が790億円もの土地対策費を支

出します。カジノの年間売り上げ4200億円は過大推計で「空想的な数字」といわれますが、来場者の大半は日本国民を想定して

います。2025年の大阪・関西万博開催とIR・カジノ建設に突き進んでいます。

会場となる夢洲へはカジノ事業者の要請で市が790億円もの土地対策費を支

いまま日々の渋滞だけが悪化の一途をたどっており、不安は拭えません。

万博・IR誘致建設問題は、引き続き大港労協と共闘し、港運協会とも連携をとりながら港湾労働者、海

コンドライバーが働きやすい労働環境に向けて運動を進めます。

コロナの終息はいつたいつになるのか、いつまで労働運動を制約しなければならぬのか。終わりの見えないコロナ禍を嘆いても仕方ありません。引き続き感染対策を徹底しながら、「可能な限りできることはやる」という考えのもと、

賃金闘争や反戦平和運動、学習を行っていきます。

4月には統一地方選挙が行われます。私たちの要求実現が可能な政治への転換に向けて一人でも多くの有権者が投票に行き、暴走する自公政権と維新政治をス

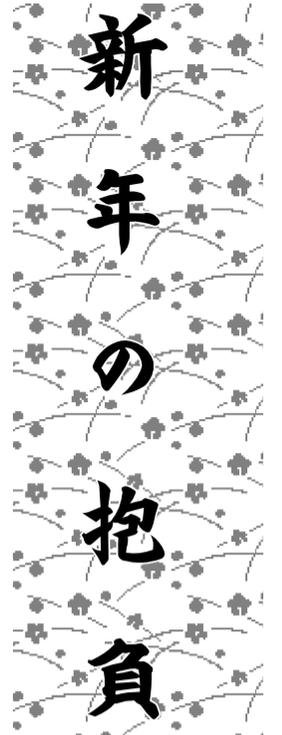
トップさせ、アメリカ従属、大企業優遇政策を改め、格差の是正、労働者・国民目線に立った政治に転換させましょう。

本年もこれまで以上に阪神支部をより強靱にし、組合員とご家族の皆さまにとつて明るく平和な年になるよう心より祈念致します。

私からの年頭のあいさつとさせていただきます。

組合員の皆さん、共に頑張りましょう。

組合員の皆さん、共に頑張りましょう。



大運分会

会厚生部会での催しや、分会青婦部会での学習会を取りやめることとなりました



が、分会厚生部では21年度の秋年末闘争において濃厚接触者の休業期間中の賃金補償が協定化されるまでの間、特別支給金として濃厚接触者の休業期間中の賃金の目減りを補償する制度を確立し、インフルエンザワクチン接種費用の負担と合わせて対応してきました。

阪神支部の皆様、あけましておめでとございませ

初めまして2021年においてはリモート形式での学習会を開催しました。

2020年に始まった新型コロナウイルスの世界的蔓延により組合活動は感染防止の為、様々な制限が課される状況となりました

また分会青婦部においては2021年

阪神支部では動員の人数制限やリモートでの学習会等、感染防止の対策を取りながら活動を止めることなく進めてこられました。

現在では世界的に新型コロナウイルスによる活動の制限は緩和されており、この状態が続けば今年度の大運分会は、分会厚生部での社員と同居の家族を対象とした催しの復活、分会青婦

部ではリモートによる学習会のさらなる技術の向上を目指したいと考えています。

また若手の組合員の増員と育成を重要な課題とし、組織拡大を目指し活動に力を入れたいと考えています。

大運分会はこれまでの制限された活動から一歩踏み出し、さらなる活動の強化と前進を目標に進めてまいりますので、阪神支部のものと一致団結し共にかんばりましょう。

書記長 田村 岳士

三郵海陸運輸分会



当分会は、乗務職と現業職の二つの職種にて構成されています。乗務職は海上コンテナドライバートして、各ターミナルと荷主間のコンテナ輸送に従事しています。現業職は沖縄・北海道向け内貨物の発送に関わる業務全般を行っており、具体的にはコンテナやワイング車への貨物の積み込み、外貨のバン出し、また倉庫内ピッキング作業や入出庫管理から空瓶の箱詰めまで多岐に渡る作業を行っています。

我々、三郵海陸運輸分会は、今年で旗揚げから46年となりました。阪神支部の中でも歴史の長い分会となるため、2023年の活動についても積極的に参加します。

統一要求課題である、65歳定年延長とコロナ対策については未だ協定化には至っていませんが、23春闘交渉前に再度労使間協議を行いました。

新型コロナウイルスによる売り上げの減少、ロシアによるウクライナ侵攻など不安定な世界情勢の影響で原油価格が高騰し収支への影響が大きく、我々の要求実現は難しい状況にあります。

分会一丸となって、生活の向上・職場環境の改善を、阪神支部の指導のもと継続して求めていきます。

書記長 井上 大輔

日本運送分会



わなければ生き残れないという意識が強くなっています。役員・ドライバー・事務所、全てにおいて各部署での情報を共有化し、問題を取りまとめ、それぞれの立場を理解した上で解決策を模索し実行する。その繰り返しですが最も重要な事であると考えています。

新しい仲間が増え続けている今こそ、各部署へのリスクヘッジや、パーパスを役員・社歴・年齢に関係なく、新人と呼ばれる方々にも、きちんと説明し納得してもらおうことが大事ではないでしょうか。

副分会長 酒井 良太

共和運輸分会



共和運輸株式会社は高石市に本社があり、従業員約50人で、ポルトトレーラー・トレーラー・大型車等で主に重量物輸送の仕事をしています。

私はポルトトレーラーで長尺物を運ぶドライバーで勤務して27年になります。が、これまで賃金上がることはなく、逆に業績不振を理由に賃金カットを余儀なくされてきました。

過去にも組合加入を考えましたがなかなか決断できなかった時、友人である大阪平岩運輸分会の仲間から背中を押され阪神支部に加入を決定しました。

最初は、1人という事もありませんでしたが、加入後は支部集団交渉や分会交渉という集団での交渉を経験し、大変心強いと実感しました。

賃金体系や労働条件も改善され、本当に阪神支部で良かったと思っています。まだまだ課題はありますが、労働条件の向上を目指すためにも職場内で1人でも多くの仲間を組織することが最優先課題だと感じています。

共和運輸分会は、昨年5月16日に1人で分会を結成しました。

まだまだ至らない所ばかりですがご指導のほどよろしくお願ひします。阪神支部の一員として学習会や運動にも積極的に参加していきます。

分会長 宮本 雄大

第30回青年部総会 次世代の阪神支部を 担う若手が集結

12月2日、神戸ポートオアシス502号室にて第30回青年部総会が開催されました。

開会あいさつで前田青年部事務局長は「コロナ禍の影響により3年ぶりに分会員を招いての総会を行うこととなった。この3年間は活動を制限される中、何か取り組めることはないかと模索しながら活動を続けてきた。退職などに伴う青年部役員減少で組織拡大は早急な課題であると位置付けている。皆さんに活動を知ってもらい、今総会を爽り

学習で組織拡大・強化に結び付け、阪神支部を担う存在になつてほしい。執行部としてもサポートできるよう全力で取り組みたい」と力説されました。

2022年沖繩平和行進報告で篠崎青年部部長は前段に「日米地位協定」、

「米軍基地の経済効果と跡地利用」に触れ、「米兵が日本で犯罪を犯しても日本国憲法より上と位置付けられる日米地位協定によりアメリカ側に裁量権が与えられてしまう現実があり、他国の米軍基地では協定改定が行われているのに日本は60年以上経つた現在でも1度しか改定されていない」、

「沖繩県には米軍からの収入と国からの補助金があり、米軍が撤退すれば沖繩経済が破綻すると言われているが年々基地依存は低下しており、仮に撤退したとしても基地跡地を活用した方が経済発展と雇用創出が見込まれる。かつて存在したハンビー飛行場、メ

イモスカラー射撃場も跡地利用で経済波及効果を発揮した」と語り、日米地位協定の抜本改定、基地に依存しない経済発展を参加者に提起しました。

その後、沖繩平和行進に参加した際に撮影した動画を使用して報告が行われました。

2022年度活動報告及び総括で篠崎部長は1年間の青年部活動を振り返り「閉会あいさつで青年部担当の道下副委員長は「20代、30代の組合員の中には組合が何を

する組織かあまりわかっていない方もいると思う。青年部の活動はそういった方々の組合活動の入門編である。学習会やレクリエーション企画を通じ交流を深めてもらいたい」と参加者へ青年部への結集を訴え、総会は終了しました。

私もかつて支部青年部に在籍しており、「沖繩平和行進」や「全国青年対策交流会議」への参加、バスツアーの企画など様々な活動を行ってきました。

その経験は今では貴重な財産になっています。若いうちからの経験は必ず後になつて糧となります。私も今の運動に活かされています。私からも青年部への結集を呼びかけます。執行委員 坪井 雄志



沖繩平和行進などの活動を報告

岸田政権の「政治とカネ」への疑惑はとどまるところがない。春の統一地方選挙を前に与党、自民党は追い込まれている。

金の動きや選挙運動員買収、一切関係ないと説明していた統一教会への資金支出で追及された秋葉復興大臣らの辞任ドミノが起き

疑念のある松本総務大臣など疑惑は出続けている。あまりにも多い辞任や疑惑の噴出に岸田首相の任命責任が問われている。岸田首相は任命責任について「重く受け止めてい

こんな「政策買収」ともいわれる企業・団体献金は禁止するしかない。しかも、自民党本部収入の7割近くが政党助成金。企業・団体献金を受け取りながら、税金を受け取る姿勢は国民を欺くものだ。

「政治とカネ」疑惑や統一教会との癒着で岸田政権の不信は高まるばかり。支持率も降下の一途をたどっている。春の統一地方選挙は一人でも多くの有権者が投票所に足を運び、岸田政権や自民党にNOを突きつけ、政治を変える絶好のチャンスだ!

主張

統一地方選挙の年 政治とカネを巡る疑惑噴出

いがある井野防衛副大臣。会場の収容人数を大幅に上回るパーティー券を販売した(参加予定のない者が購入した場合は寄付にあたるが収支報告書に記載なし)政治資金。パーティーを巡る

経団連は、政党の政策評価を毎年発表し、自民党などへの献金を会員企業に促している。22年も10月に原発促進など大企業本位の政策を掲げる岸田政権を高く評価し、「寄付の拡大」を呼びかけた。

最賃の再改定を
賃上げ対策も効果が期待できない。「中小企業の賃上げ支援」や「賃上げ減税」はほとんどの中小企業は使えない条件となつている。

あらたに中小企業への有効な賃上げ支援を打ち出し、最低賃金を1500円に引き上げるような政策を進めなければ実質賃金が下がり続けている現状を打破するのは難しいと言わざるを得ない。

貧弱すぎる
物価高対策
年が明けても春にかけて、食品などの値上げラッシュが予定されてお

消費税を5%に
物価高対策は電気・ガスやガソリン、輸入小麦など一部の品目に限定されている。あらゆる品目が値上げしているのだから、消費税を5%に下げることには不十分だ。

平和な港・神戸港を守るため、 運動を発展させよう！

第62回クリスマス闘争市民集会



反戦平和を訴える力強いコールで商店街をパレード

12月24日に波止場町緑地に於いて「第62回神戸港平和のためのクリスマス闘争市民集会」が行われ、約70名が参加しました。

主催者あいさつで安保破棄兵庫県実行委員会の桂仲二郎会長は「岸田首相は安保関連3文書を閣議決定し、防衛費を5年で43兆円

も増やし、憲法9条を持つ国がアメリカ、中国に続く世界第3位の軍事大国になるうとしている」また「防衛費増額の財源として福島

をしばった外交力強化が求められている」と提唱しました。日本共産党のこむら潤

の復興税削減も検討している。まさにタガが外れた政治だ」と現政権を批判し、「私たちの運動で政治を変えろ」と力強く訴えました。

来賓あいさつに立った兵庫労連の成山太志議長は、ウクライナ侵攻、北朝鮮のミサイル発射、中国の軍拡などで日本も防衛力を強化すべきという声が国民の中で増えてきていることに触れ、「抑止力とは相手国の軍事力を上回って成立するものであり、最終的には核保有にまで進んでしまう愚かな考え方だ」、「防衛力強化と言うが結局はアメリカの兵器を爆買いするだけ」と、今のままではアメリカと共に日本は破滅の道に進んでしまう危険性を説き、

「今の日本には知恵の運動が米軍基地全面撤去、さらには神戸市議会で入港艦船に非核証明書を必要とする非核「神戸方式」を全会一致で決議し、誕生させる力となった運動の歴史を紹介しました。

また谷口議長は、核兵器禁止条約発効に触れ、「核兵器はこの条約により違法とされ開発、製造、貯蔵を含めあらゆる活動が禁止された。これは核兵器のない世界をつくる絶好の機会ではあるが、唯一の戦争被爆国である日本はこの条約に反対の姿勢を取っている」と日本が世界の流れに乗り遅れていないことを批判しました。

さらに条約に「日本が参加すれば核兵器のない世界への実現が大きく前進する。政府に調印を迫ろう」と参加者に提起しました。最後に「私たちの先輩たちがたかたか勝ち取ってきた平和な港、神戸港を守るために引き続きこの運動を継承してさらに発展させよう」と呼びかけ、「岸田自公政権が進める大軍拡路線に対して平和、暮らし、命を守り憲法9条改悪をストップさせるために団結ガンバロー」と力強いコールで締めくくった後、会場から元町商店街までパレードを行い、クリスマスで賑わう歩行者に向けアピールしました。



神戸港平和のためのクリスマス闘争市民集会
港湾共闘 谷口議長(支部特別執行委員)
執行委員 坪井 雄志